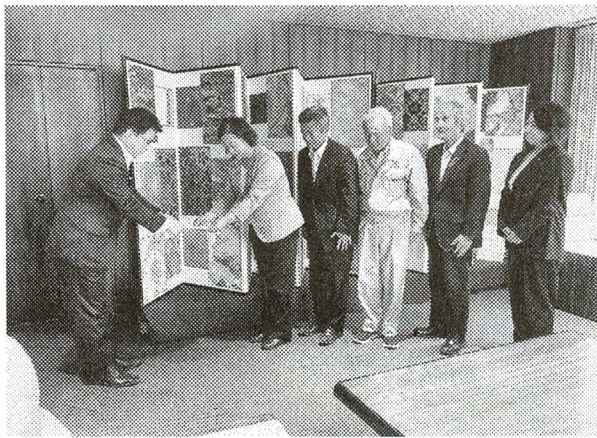


市民が安心して暮らせるよう物価高騰対策を緊急要請！！



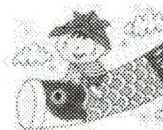
要請項目は、
①市民のくらしを守る緊急対策として、LPガス代の高騰軽減策、学校給食食材の高騰分は市が補填支援すること、省エネ性能家電への買い替え支援、高断熱性能住宅建設・リフォームへの助成拡充などを求め、②医療・社会福祉施設等への電気代・物価高騰対策支援、③中小企業等への事業継続支援金の継続、コロナ対策で借入入れた「ゼロゼロ融資」の返済へ「借り換え保証」等伴走的支援、公共交通、観光、物流を支える運輸事業者への支援、④農林業の物価高騰対策として、飼料・肥料・農業資材等の高騰への支援策、経営危機に直面している酪農家への支援、畜産飼料の国産化と水田活用交付金の見直し中止を国に求めること、土地改良区の電気代支援策などです。

5月2日、日本共産党の千田みつ子県議会議員と奥州市議員は、倉成淳市長に対して、「物価高騰から市民のくらしと営業を守る緊急対策を求める申し入れ」を行いました。物価高対策として、国から地方創成臨時交付金が公布されることを受け行われました。

民報
おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町3丁目59
Tel 24-2021
Fax 24-2049



倉成市長

将来を見据え間接的支援必要

議員団の要請に対して、倉成淳市長は、多岐に渡り生活ぶりをとらえた要請であり、これまでの直接支援に加え、間接的支援策もある。将来の在り方を見据え、この組み合わせが必要だと思ふと述べました。

そのうえで、①エネルギーの高騰は1人あたり年6万円に相当し、正常になるまでどうするか考えなければならない。②公共交通では切実な問題になっている。「借入れ」の「借り換え」をしなければならぬという

え、運転手不足のダブルパンチで、公共交通を利用する人を増やす施策が必要だと考えている。理解できる内容なので検討したいと応じました。

各担当部からの回答

【施策企画部】

子育て世代への支援に続き、低所得者対策を検討する必要があります。4億円強の枠で、10日までに取りまとめ、国・県の制度でカバーしきれない部分、奥州市の地域性を勘案し選定させていただきたい。

【商工観光部】

商工会議所、組合等から、電気代の支援をお願いしたいとの声をいただいている。

温泉施設について、引き続き支援が必要かと考えている。また、鋳物・タンスなど

伝統産業への支援、バス・タクシーへの上乗せ支援が必要か、協会等と検討している。6月20日で締め切られる県の事業継続支援金を市で引き続き継続できないか検討している。

【農林部】

資材等については省エネのものに変える支援を考えていきたい。酪農については、やるべきことを検討している。

【福祉部】

社会福祉施設への電気代等の支援は、昨年度と同様に支援できないか検討している。

【健康こども部】

私立保育所・子ども園について、副食費の補填、電気代で可能な限り対応できないかと考えている。医療施設への電気代の支援は、もう少し調べてから検討したい。

【都市整備部】

エコ住宅リフォーム制度の拡充は、始めたばかりで、応募状況をみて検討したい。

【教育委員会】

学校給食費高騰分として、市単費で1700万円見込んでいたが、牛乳の単価などで

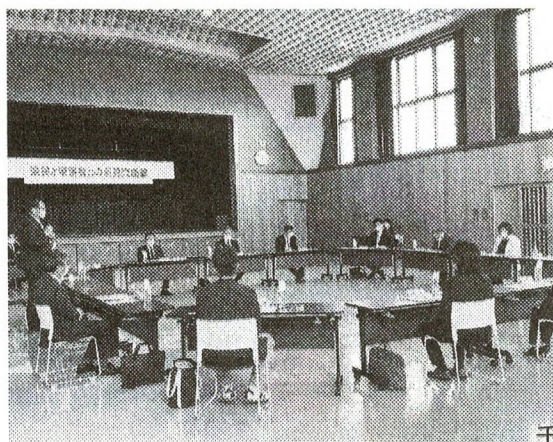


県議会議員
日本共産党
千田みつ子

スポーツによる地域活性化

一昨日、金ヶ崎町を会場に「県民と県議会との意見交換会」が開催され、「スポーツによる地域活性化について」をテーマに、意見交換を行いました。

県議会からは8名が参加。県民代表として参加された6名の方々は、地域スポーツクラブや体育協会に所属されたり、奥州湖交流館長、西和賀町でスキー指導と木工工房で制作活動を行っている方など、多彩なメンバーが参加され、日頃の活動を通



Facebook より

千田みつ子 Facebook

日本共産党演説会

日時：5月28日(日) 午後2時開演
場所：盛岡市「岩手県民会館」大ホール

岸田大軍拡をやめさせ
くらし優先の県政を実現しましょう！



弁士：党書記局長
参議院議員



千田みつ子県議も挨拶します。

5600万円プラスになっている。交付金を活用し給食費の引き上げは行わないようにしたい。

4月27日
じて感じている事など、熱く語っていただきました。

